

## 第8回JRR貨物連合

### 定期大会を開催する

10月5日、都内において、第8回「R貨物連合定期大会を開催しました。

前村副会長による開会挨拶後、資格審査を経て大会が成立し、小笠原（中央執行副委員長）代議員を議長に選出しました。

スローガン（案）の提起後、山崎会長の挨拶では、貨物連合発足からこれまで、いろいろな面でご協力を頂き、大変感謝している。この場を借りてお礼申し上げる。衆議院が解散し、公示日が10/10と迫っているが、どの党に希望が持てるのか、全く分からない状況である。

我々の基本理念は、「戦争政策には頑固反対」であり、どの政党に投票するか、最後は自分自身の判断となるが、信念を持って投票して頂きたい。ロジ会社の労働環境は、貨物会社に比べ、大変厳しいものとなっている。貨物会社の28年度決算は、連結103億・単体88億を計上し、至上命題であった鉄道事業黒字化も達成した。これまで「厳しい」の一点張りに我慢を強いられてきたが、今後は「公平な分配」を求め、貨物連合一丸となり取組んでいく。そのためにまずは、貨物鉄産労が、責任組合として、期末手当・各種手当・賃上げ等の改善を獲得し、ロジ会社への波及効果をもたらすことが必要である。

また、ロジ労組は、会社と連携し、「公正な業務委託料」を貨物会社に支払わせねばならない。安全については、常々申しているが、思い込みによる作業は決して行わず、事前に確認、打ち合わせを徹底し、安全確保に努めて頂きたい、と挨拶されました。

来賓には、交運共済坪井理事長様・R連合より、北村グループ担当部長様、中村安全担当部長様の2名にお越し頂き、始めに坪井理事長より、「大会のご盛会おめでとうございます。日頃より大変お世話になっております。貨物連合が発足した当時、私はR連合会長としており、発足した当時を懐かしく思う。共済は今年で80周年を迎え、増件・増口キャンペーン中である。ぜひ、ご検討願いたい。また、日頃から共済を有効的に活用してほしい。しっかりサポートしていく。今後とも加入促進等、ご協力をお願いしたい」と挨拶されました。



前村副会長による開会挨拶



小笠原議長



山崎会長



交運共済坪井理事長

続いて、「R連合を代表し、北村部長より、「定期大会のご盛会誠にありがとうございます。日頃からR連合の諸活動にご協力頂き、感謝申しあげます。衆議院が解散されたが、今までにない混乱ぶりである。10/15日、連合大会が開催され、選挙支援方針が示された。皆さんのご協力をお願いしたい。貨物における政策課題については、「R連合として責任をもって、対応していきたい。R連合に結集する仲間のグループ会社が83単組となり、JRT単組と合わせ、100になった。今後も、「R連合は、しっかりと支援行動し、貨物連合がさらに飛躍していくことを期待している」と挨拶されました。



JR連合 北村部長

次に、小笠原事務局長より、2016活動報告・2017活動方針（案）が読み上げられ、質疑応答が入りました。集約答弁後、スローガン（案）・活動方針（案）が、満場一致で可決され、続いて、役員改選が行われ、新しい執行部体制が成立し、新旧役員挨拶後、議長を解任し、辻村事務局次長より、大会宣言（案）読み上げられ、採択し、木村副会長による開会挨拶後、大杉新会長による「団結ガンパロー」で、会は成功に閉会しました。終了後、場所を移動し、懇親会を開催し、仲間との交流を深めました。

（裏面へ）

### 火災共済とセットで、地震、暴風雨などの被害を保障。

台風に限らず、突風、高波、津波、洪水、豪雨、雪崩れ、降雪などの被害を保障。地震風水害共済なら、さらに強盗や窃盗による被害に対しても共済金をお支払いします。



みんなが暮らしをガード  
交運共済  
日本貨物鉄道産業労働組合共済会

大切な家が災害にあったら  
火災共済/地震風水害共済



# 各種報告

## 連合大会報告

10月4日～5日東京国際フォーラムにおいて、連合第15回定期大会（「次の飛躍へ 確かな一歩を」）が開催され、貨物鉄産労から、大杉委員長・小笠原副委員長の2名が参加しました。

衆議院解散に伴い、民進党が事実上、希望の党への合流により、連合支持政党はどうなるのかという話題もあり、マスコミの方も多く参加されていました。結論として、連合本部としては前代未聞の支持政党はなし、政策協定も結ばないと異例の扱いとなりましたが、安倍政権を倒す目的を一致することは確認しました。日本を良くしたいと思う気持ち、どの政治家（政党）も一緒かと思いますが、着目する視点によって、考え方は異なります。

## 選挙へGO!

我々は、労働者の立場から、豊かな生活実現を求めなければなりません。2017年8月28日に「働き方改革実行計画」を決定しました。「働き方改革実行計画」に基づく法・制度整備の議論は、労働政策審議会を経て、国会へと移ります。連合は、構成組織・地方連合会と一体となって、労働組合のない職場で働く人も含めた、すべての働きの立場に立った「働き方改革」となるよう、全力で取り組みを進めていきます。

## 貨物連合

安全ディスプレイセッション  
10/5、都内において、第4回貨物連合安全ディスプレイセッションが開催されました。辻村本部書記長が、進行役を務め、来賓に「JR連合中村安全担当部長をお招きし、会が始まりました。

## 第2回中央執行委員会

10/5、本部事務所にて、第2回中央執行委員会を開催しました。これまでの経過報告をし、議題では、期末手当について・衆議院解散選挙の取組み・政策課題について・JR連合諸活動への取組み・安全・組織関係等が議論されました。

期末手当については、業務速報で報告し、選挙の取組み方は別途指示となります。

10/23・JR連合安全シンポジウム（広島）が開催されます。本部・関西地区本部・中国ロジが参加します。  
11/16、第1回代表者会議を開催します。

## 2018年度

「連合・愛のキャンパ」  
「協力をお願い致します。」

JR連合では毎年、組合員の積極的な協力によって多くのキャンパ金が集まり、連合運動に大きく貢献しているところですが、今年度についても、取り組みを展開することになっております。なお、2014年度より、宮城県名取地区におけるオイスカ「海岸林再生プロジェクト」の活動支援に対するキャンパも兼ねておりますので、趣旨をご理解のうえご協力をよろしくお願い致します。

### 取組期間

2017年10月～12月  
目標 組合員一人30円以上を目標とする任意キャンパとします。

なお、集約したキャンパ金の一部をオイスカ「海岸林再生プロジェクト」の支援に拠出します。



小笠原事務局長



大杉新会長による「団結カンパロー」

## 新役員体制

会長・大杉正美(貨物鉄産労)

副会長・前村安男(中国ロジ)  
副会長・木村龍雄(九州ロジ)

事務局次長・山田春信(南関東ロジ)  
事務局次長・辻村和裕(貨物鉄産労)

退任された役員

山崎俊実会長(貨物鉄産労)  
小笠原誠事務局長(南関東ロジ)

山崎会長、小笠原事務局長、大変お疲れ様でした。

